

ATSUSHI (Dragon Ash / POWER of LIFE)
presents



POWER of LIVE in Shibuya

12/18(火) Mt.RAINIER HALL SHIBUYA PLEASURE PLEASURE

>>>>> **NOW ON SALE**

[出演]
ATSUSHI (ダンス: Dragon Ash / POWER of LIFE)
坂本美雨
秋田ゴールドマン (ベース: SOIL&"PIMP"SESSIONS)
みどりん (ドラム: SOIL&"PIMP"SESSIONS)
木下航志 (ピアノ / ヴォーカル)
木田奈保子 (ソプラノ: from 福島)
紺野裕子 (フルート: from 福島)
常光今日子 (ヴァイオリン: from 福島)
鈴木智子 (ピアノ: from 福島)
and more...

WHAT'S POWER of LIVE
本公演は、このPOWER of LIFEの活動の一環として、東日本大震災からの復興に向けて歩み続ける方々と共に、心温まるひとときを届けたいという想いで開催。ATSUSHIのソロダンスを軸に、支援活動の中で出会った人や風景を撮りためた写真のスライド上映、ATSUSHIと交流の深いアーティストとの共演、またこの活動から交流の生まれた福島県いわき市の音楽家4名が参加し、「POWER of LIFE」をテーマに表現を行う。

ATSUSHIのソロダンスを軸に、写真のスライド上映、 交流の深いアーティストとの共演による表現活動。 復興に向けて歩み続ける仲間と共に想いを届ける。

— まずATSUSHIさんが、一般社団法人POWER of LIFEを設立した経緯を教えてください。

「思いついたのは2008年でした。その時に自分の中で3つの点があって。まず、自分が表現者として、そして人として何が出来るのか考えていたこと。2つ目はミュージシャンやアストリートの仲間が周りにいて、それぞれの活動に負担をかけない程度にみんなの力を1つにできないかと思っこと。3つ目は、今でもそうですけど、犬猫の殺処分の問題をどうにかできないかと思っこと。当時、年間で33万頭以上の犬猫が行政に殺処分されていた中で、アニマルシェルターと呼ばれている、殺処分される前に保健所から犬猫を引き取って、里親を探してお手伝いをしている民間施設と出会ったんです。千葉の柏にあるその施設に足を運んだ時に、自分も何か支援活動ができないかと思っこと。帰りの高速道路で車を運転している時に3つの点が線になって、POWER of LIFEというプロジェクトを立ち上げようと思っこと。それがそもそもの始まりでした」

— POWER of LIFEは活動テーマとして“生命力”を掲げていますね。それはATSUSHIさんのダンサーとしてのテーマでもありますか？

「そうですね。2003年にDragon Ashに加入後、大勢の前で自分のダンスを披露する機会が増えていくうちに“表現の本質って何だろう？”って考える時間が増えていったんです。そうやって自問自答する時期が2004年から2008年くらいまであって。2006年からはソロの活動も始めて、自分の踊りのテーマとして生命力が大きくあることを感じていった。その先に行き着いたのが、POWER of LIFEの活動だったんです。人間のエゴで動物の命を作って、人間のエゴでその命を殺している。その根本的な問題と向き合う糸口として、生命力の尊さを伝えていこうと自分の中で着地したんですね」

— 昨年3月11日以降は、震災の復興支援、被災者の心のケアも活動の大きな軸になっていった。

「震災直後は、あまりの衝撃の強さに、俺も何から始めていいかわからなかったというのが正直なところでした。でも、震災の3日後に仲間から電話がかかってきて、“ATSUSHI、動こうよ”って。そこからすぐにエンジンがかかりましたね」

— まずは、3月20日にPOWER of LIFEの賛同者である写真家の平間至さんの地元、宮城県塩竈市に足を運んだんですね。

「まずは現地に行かないと何も始まらないと思っこと。車にパンと水を積んで、塩竈を拠点に七ヶ浜、石巻、東松島を4日間かけて回りました。現地の人に話を聞いて、いま何が必要なのかを教わって。そこから、みんなの心の安らぐ場所と交流の場所を作ろうということになって。昨年4月17日に塩竈のホームセンターの駐車場で、炊き出しとアコースティック・ライブを開催したんです。その時は平間さんを始め、MONG OL800のキヨサク、Caravan、うつみようこさん、中田裕二くん、Candle JUNEくんに参加してもらって」

— そこから被災地でのフリー・ライブを重ねて、POWER of LIVEの原形が生まれた。

「そうですね。その延長線上で、今年の9月には塩竈で『GAMA ROCK FES 2012』というフェスも開催しました。そもそもは、去年の3月16日に渋谷のクラブアトロでキヨサクと電気を一切使わないフリー・ライブをやっているんです。震災直後で、いろんなライブが飛んだ中で、人が集まるか分からなかったんですけど。結果的に600人くらいの人が集まってきて。その時、喜んだり、涙を流しているオーディエンスの姿を見て、やっぱり音楽やアートには絶対的な力があると感っこと。それができたんです。ライブ後にその思いを平間さんや仲間伝えて、被災地を回ってライブと炊き出しをしていこうってなったんです」

— そして、今年2月5日に昨年、福島で最初に物資を届けた、いわき芸術文化交流館アリオスでPOWER of LIVEを開催。以降、全国で公演をしてくれ流れが生まれた。

「POWER of LIVEのメンバーである、いわき出身の女性クラシックユニットのメンバーにも去年物資を届けた時に出会って。俺はクラシックをバックに踊ったことなんてないのに得意のムチャ振りして“一緒にやりませんか？”ってお誘いして(笑)。最初にセッションした時にライブを観てくれた人がすごく喜んでくれたし、またいつかやりましようというこで。それで、2月5日のPOWER of LIVEの開催に至りました。当初はその1回限りの予定だったんですけど、メンバーの手応えもあつたし、これは全国で開催したほうがいいんじゃないかということになって」

— ATSUSHIさんはPOWER of LIVEで1時間半以上踊り続けているんですね。

「これまではソロで30分以上踊ることなんてめつたになつたから、1時間半以上踊るのは未知の領域で、プレッシャーもあつたんですけど。みんなの後押しを受けて踊らせてもらってます。毎回即興で踊るので、ほぼ記憶がないんですよ。だから、自分が普段何を考え、思っことかすべて踊りに出ていると思っこと。バンドも毎回ハーサルなしの一発勝負で、完全に即興でやってもらっているんです。みんなには“それぞれのPOWER of LIFEを表現してくださ”というこだけ伝えて」

— 今回の東京公演もそのスタイルで？

「そうですね。ステージに上がる前にみんなで円陣を組むんですけど、決まっているのはほぼそれだけです(笑)。ミュージシャンの飛び入り参加もあり得ると思っこと。基本的に出演したいと言っことくれる人にはNGは出さないで」

— オーディエンスにはPOWER of LIFEからどんなことを感っ取ってもらいたいですか？

「それは十人十色で良いと思っこと。約2時間ほどのライブを観て、堅苦しくなく1回でも生るこについて考えるきっかけを作れたら嬉しいですね。それぞれのPOWER of LIFEを感ってもらえたら、と思っこと」

●インタビュー/三宅正一

WHAT'S POWER of LIFE

Dragon Ashのダンサーとして活躍する「ATSUSHI」が発起人となり、生命の素晴らしさや尊さを伝えるプロジェクト。現在は大きく3つの活動を行っています。

1. 写真展、ライブなどによる表現活動
2. アニマルシェルターへの支援活動
3. 東日本大震災への復興支援活動

WEB SITE

ATSUSHI TAKAHASHI >>
www.atsushi-takahashi.com
POWER of LIFE >>
poweroflife.jp



サイン入りポストカード、缶バッジ、ステッカーを
セットで5名様に!

[応募方法] 住所、氏名、年齢、DI:GAを入手した公演名とこの号の感想を書いて、ハガキは〒150-6024 YGP局 私書箱5026号 株式会社ディスク Garage (住所不要)、Eメールはpaper-dg@diskgarage.co.jp、「DI:GA205号 POWER of LIFE プレゼント係」までお送り下さい。締め切りは12/25到着分まで有効です。

GET TICKET 先着受付!



*初めてご利用の方は、「GET TICKET」への会員登録(無料)が必要です。
*その他詳しくはお申込みページにてご確認ください。

[MP会員の皆様へ] こちらの受付ではGET TICKETの会員番号とパスワードをご入力ください

■受付公演 12/18(火)
Mt.RAINIER HALL SHIBUYA
PLEASURE PLEASURE

■受付期間 >>> 規定枚数になり次第終了いたします
11/1(木)21:00 ~ 11/30(金)23:59

■申込ページ [PC・携帯・スマートフォン共通]

<http://www.getticket.jp/g?t=5xrujkg>